

「こんな本よんだよ」

三年二組

生山

けいご

ぼくは、「かいけつゾロリ地球さいごの日」という本を読みました。この本を読もうと思っただのは、「かいけつゾロリシリーズ」を読んでいるし、表紙の絵が、おもしろそうだとおもったからです。

一番心にとったことは、「いんせきが地球にぶつかってほろびてしまうのをおならの力で地球をすくった場面です。七人のおなら名

人がきょうかして地球を動かした。ぼくはそれを読んでおならがぶきになるっておもしろいなと思いました。ぼくだったらおならで地球をすくうなんて考えつきません。

二番目に心にとったことは、「フレディー」がきんちようするとおならばかりするのでよくしゃべいをしていました。だからいつも元気かありません。でもそのおならで地球がすくえたのでフレディーも元気になりました。よかったです。

ぼくは、このお話を読んで、ぼくもいっしょにゾロリたちときょうかして地球をすくいたいと思いました。
そしてみんなと楽しくくらせたらいいなと思いました。

おならで地球をすくうなんて、あんとおもしろく、びっくりするおもしろいことだし、もう、ゾロリの話の中には入りこんで思いっきり楽しむことかひきましたね。

ふしぎの国のアリス

三年三組 大日方 かりん

わたしは、ふしぎの国のアリス^レを読み
ました。

アリスはうさぎをおいかけでいくと、あな
におちてしまいました。

イモムシが、「このきのを両手でちぎって
食べてごらん^レ」と言ってアリスが食べてみる
と、体の大きさが自由にえられるようにな
りました。両手のきのこをじ^ゆんぱんにかじ

つて、のびたりちぢんだりしながら歩いてい
きました。この場面がとてもおもしろかった
です。あと三人のランプのにおし^が、赤い
バラをうえるはずだ^つたのにまちがえて白い
バラをうえてしまったので、白いバラをせ^つ
せと赤くそめているところがおもしろかった
です。でもそのあと女王様が出てきてとても
おこりはじめました。とてもおおい女王様で
、みんなの首を切^つておしまい^い。とおこ^つて
さげんでいるばかりで、わたしはドキドキし

てきました。

でもこのお話は、さいごは、ゆめでした。
ちよと安べしました。

森の中でお昼ねすると、こんなゆめが見られるのかな。わたしもちよとこわい気もするけど、体の大きさが自由にがえられるきのこを食べてみたい。あくあくするゆめを見てみたいです。

「家のバリアフリー」を読んで

黒川 笑里

わたしはこの本を読む前は、バリアフリーという言葉は知っていました。が、どんなことなのか知りませんでした。でも家をバリアフリーにするごとでお年よりの人や、体の不自由な人にとつてとてもべんりにすごすことかできるといふことをはじめて知りました。

たとえば家のゆかにだんさがないと車いすにのっている人にとつては、一人でどこへでも行くことができてべんりです。また、足の不自由な人にとつて、お風呂やトイレに手すりがあると、とてもべんりです。

そこでわたしの家の中でべんりな所をいくつかさがしてみました。手すりはお風呂やトイレだけではなく、げんかんやかいたんにもありました。ほかにも水道のじゃ口は上下すればかんたんに水が出たり止まったりします。電気のスイッチは大きくておしやすく、電気をけすと、スイッチの所で小さなあかりが

つきます。そうすると、くらくても、スイ
チの場所がよくわかります。わたしにとっ
ても、とても使いやすく、べんりたと思
います。このようにお年よりの人や体の
不自由な人だ
けではなく、だれにでも使いやすい形
のことを、ユニバーサルデザインとい
うことをこの本ではじめて知りまし
た。みんながこまらないようにするに
はどうすればいいのかを考えて、く
ふうすることは、とても大切だと思
いました。

わたしはこの本を読んで、どんな人
でも自分の家で楽しく生活するのは
だいたいなことだと思
いました。

かいぞう文庫